

(2) 総合評価シート

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和7年度）

施設名	吹田市立日の出町児童センター	所管部室課名	児童部子育て政策室
所在地	吹田市日の出町7-4	設置年月日	令和7年7月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	児童が安心して遊び、過ごすことができる居場所を提供することにより、児童の心身の健やかな成長、発達及びその自立を支援することを目的とする。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (構造)鉄筋コンクリート造2階建 (敷地面積)1527.79㎡ (建築面積)547.65㎡ (床面積)884.06㎡	【開館日等】 (開館日) 月、水、木、金、土、日 (5/3～5/5及び年末年始を除く) (開館時間) 月、水、木、金 10時～20時 土、日、国民の祝日に関する法律に規定する休日 10時～18時	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人こばと会					
(2)指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者 が行う業務内 容	1 子どもの健全育成及び地域の子育て家庭への支援に関する業務 2 施設の管理運営に関する業務 3 施設の維持管理に関する業務 4 経営管理に関する業務 5 その他					
(5)指定管理者 の収支			令和6年度		令和7年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収 入	指定管理料 又は利用料金（円）	-	-	50,025,000	49,941,000
		自主事業（円）	-	-	0	0
		その他（円）	-	-	0	0
	支 出	管理経費（円）	-	-	50,025,000	49,659,352
		自主事業（円）	-	-	0	0
		その他（円）	-	-	0	0
	収支差額（円）		-	-	0	281,648

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和6年度		令和7年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	メイン行事参加者数	-	-	2,250	1,971
2	センターまつり参加者数	-	-	500	291
3	幼児教室参加者数	-	-	750	744
4	月間・週間行事参加者数	-	-	4,500	6,494
5	年間来館者数	-	-	27,750	31,250
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施（実施期間：令和7年12月/回答者数：児童向け53名/大人向け35名） ・常設の意見箱、こども会議の実施による意見の把握
(2)把握結果	・職員の接遇については、肯定的な回答がほとんどであった。 ・幼児教室やイベント等の利用者満足度は高いものであった。 ・遊びやイベント、利用ルールに関して要望があった。
(3)結果を受けての対応状況	・今後、こども会議等で児童の意見を聴取したり議論したりすることで、ルールを児童とともに作る。 ・人気のおもちゃを児童より聴取し、購入した。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2 平等利用の確保については、利用者の公平性が確保されていた。 3 個人情報の保護については、制定している「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」や吹田市個人情報保護条例を遵守することにより個人情報の保護の徹底に努めていた。
(2)施設の効用の発揮	利用者アンケートでは各年代に応じたアンケート用紙を作成し、適切に利用者意見を把握されていた。また、こども会議等を通じて児童の意見を聴取し、児童が安心して過ごせる居場所づくりに努めていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、安定した管理運営体制を構築しており、適切な施設運営を行っている。また、各種必要な研修が実施され参加しており、法人内の研修や、他の児童会館での研修等、研修が充実している。また、実施するだけでなく、報告書等を提出する等、振り返りも実施している。
(4)施設の管理経費の縮減	裏紙利用による消耗品費の削減の努力がなされている。
(5)その他	本施設は、令和7年7月1日に移転建替により供用開始した施設であり、吹田市内唯一の高校生世代までの児童を受け入れる児童センターである。中学・高校生世代向けのチラシを作成するなど、利用促進のための取組をおこなっており、施設利用者数は移転前の施設より増加している。
(6)総合評価	管理運営体制、管理運営内容共に基本協定書や募集要項、事業計画書等に基づいて実施していることを確認し、改善を要する指摘事項は無い。加えて、施設の管理運営に係る経営状況が健全であると確認できたことから、今後において、安定した管理運営が可能であると判断する。一方で、緊急時のマニュアルについて、一部未整備であったため、今後作成が必要である。